

台風11号被害

桃の産地を守れ

Q 真鍋議員 台風11号による被害について、本市特産品の桃の被災状況と市の対応は。

A 産業文化部長 桃の被害は約35ヘクタール、被害額約5500万円と算出されている。JAでは機械選果経費の追徴はしない方向で調整していると伺っており、共済では、損害額の7割程度が支給されると伺っている。桃栽培農家の復旧支援策として、JAが国の補助事業の果樹経営支援対策事業に取り組みようであり、本市も補助金の増額や補助率の拡大も視野に入れ、柔軟に対応したい。

子供の貧困対策

市の支援策は

Q 横川議員 本市の子供の貧困状態はどうなっているのか。食糧支援や医療サービスなど、小・中学校の対応状況も含めてどのようにしているのか。

A 市長 本市の給食費を含む就学前保育施設の利用者負担額は、

生活保護世帯は無料、市民税非課税世帯は安く設定している。医療サービスは、中学校卒業までの子供を対象に全額現物給付とし、ひとり親家庭等医療費助成制度では、現物支給としている。小・中学校の給食費は、就学奨励費支給制度の対象保護者に全額実費を支給している。

女子サッカー部

全中学校に設立を

Q 山本議員 女子サッカー発祥の地として、中学女子サッカー部設立への動きはあったのか。

A 市長 現在、全中学校にサッカー部はあるが、女子だけのサ



女子サッカー発祥の地・丸亀

ッカー部はない。しかし、サッカー部では女子の入門も認めており、5中学校で8名の女子生徒が男女混合のサッカー部として活動している。女子サッカー部設立には、練習場所や指導者の確保など課題があり、実現していない。女子サッカーチームは県内に13あり、試合や大会に出場していることから、実現可能な方法を検討したい。

イクボスという

呼称は適切か

Q 三宅議員 イクボス宣言で女性管理職も「ボス」と呼称することは不適切ではないのか。

A 総務部長 イクボスとは部下のキャリアと人生を応援しながら、自らも仕事と私生活を楽しむ管理職のことで、男性だけでなく女性管理職も対象としている。ボスという呼称は職場の管理監督者や上司といった意味を持っており、性別や年齢などにかかわらず使用される言葉と認識している。イクボスは働き方改革のキーワードとしても紹介されている。イクボス宣言の趣旨をご理解いただきたい。

市民会館

お別れ企画を

Q 水本議員 平成29年3月末で使用を中止する市民会館のお別れイベントを企画してはどうか。

A 産業文化部長 市民会館のフイナールを迎えるイベントとして、詳細は未定だが、市民の皆様からの市民会館へのメッセージや思い出の写真の募集、これまで行われた事業のポスターや公演された方のサイン色紙などの展示を検討している。また、最終月には楽屋や舞台装置の見学会、ホールを開放した作品展示など、市民会館の思い出が残る行事を計画したい。



現在の丸亀市民会館

保育所

民間委託の方針は

Q 小橋議員 近年保育士採用数が増加しているが、これまで進めてきた保育所民間委託の方針を変更したのか。

A こども未来部長 本市では公立保育所の統廃合や民営化などで行財政改革を推進してきたが、子ども・子育て支援新制度が導入されたことを受け、新たに市こども未来計画を策定し、今後5年間の保育所・幼稚園、認定こども園のあり方を方向付けた。今後5年間は民間委託の計画はないが、委託自体を否定するものでなく、今後も継続して検討していく。

市営港駐車場 離島振興に活用を

Q 三木議員 夏休み期間中は海水浴などで島へ行く人が増えると思うが、市営港駐車場の利用状況は。また、離島振興の視点での活用を検討すべきと考えるが、どうか。

A 建設水道部長 7月と8月の

利用は6月の約2倍となっており。港駐車場は島しょ部で活動される皆様には不可欠な駐車場であり、柔軟に運営していくことが大切である。今後、利用者の要望なども聞きながら、子供の海水浴やキャンプなど、各種イベントに協力し、離島振興に貢献したい。



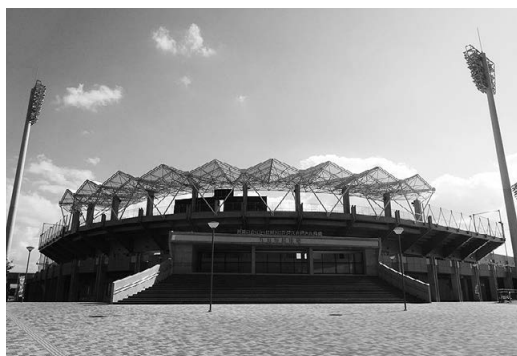
港から一番近い市営港駐車場

丸亀市民球場 要望にどう応える

Q 松永議員 市民球場の使用状況と予約状況は。また、市民から案内表示板の設置、大会予定表の作成、子供の遊び場の設置の要望があるが対応は。

A 生活環境部長 これまで利用

一般質問



四国Cスタ丸亀（金倉町）

可能日数の96%で利用があり、今後半年間の土日、祝日の80%以上で予約が入っている。案内表示板は必要な箇所に設置できるように関係機関と調整している。大会予定表は9月から球場の月間広報の形でチラシを作成し、公共施設などでの配布を予定している。子供の遊び場設置は今後の検討課題としたい。

障害者差別解消法 どのような認識か

Q 岡田議員 来年4月に施行される「障害者差別解消法」に対する市の基本認識は。

A 市長 同法は全ての国民が障害の有無によって分け隔てられ

ることなく、相互に人格と個性を尊重する社会を目指すものであり、本市においても障害を理由とする差別的解消に向けて必要な施策を進める必要があると認識している。市には不当な差別的取り扱いの禁止と障害のある方への合理的な配慮が義務づけられるので、きめ細かに対応するとともに、差別的解消に向けた啓発を行いたい。

高齢者徘徊事故 防止の取り組みは

Q 神田議員 認知症の高齢者が行方不明になる事案が全国で増加している。本市では高齢者の徘徊事故防止にどのような取り組みを行うのか。

A 市長 日常の見守り体制と所在不明となった時の支援体制の構築を進めている。社会福祉協議会では、登録会員に対し行方不明者の情報をメール配信する取り組みが行われているので、登録者数の増加を図り、より有効なネットワークづくりを進める。今後も県や他市町、警察ほか関係機関と連携し、高齢者の徘徊事故防止に努めたい。

マイナンバー制度 市長の見解は

Q 中谷議員 利便性よりもプライバシー侵害などの危険性が心配されるマイナンバー制度について、市長の見解は。

A 市長 現時点で利用範囲は税や社会保障、災害対策の分野に限定されている。今後、利用範囲が拡大されれば利便性が向上する一方、情報漏えいの危険性が高まるのも事実である。

市としては、システム整備や職員研修を行いセキュリティ対策の強化に努め、市民の皆様がマイナンバーを安心・安全に利用し、メリットを実感できるように準備を進めたい。

アレルギー対応給食 拡充に向けて

Q 福部議員 アナフィラキシー症状がある児童・生徒にも除去食などを提供できるように市食物アレルギー対応マニュアルの改正を求めるが、いかがか。

A 教育部長 今年度、アレルギー対応給食実施対象校を拡大し、

円滑、確実な対応を図っているが、一層の推進を求める要望もあり、現在の対応マニュアルの改正について来年度に検討に入る予定である。改正に当たり、アナフィラキシーショックの対応など、様々な課題について、専門医、学校関係者、栄養教諭等と検討、協議したい。



アレルギー対応を進める学校給食センター

エネルギーの地産地消 市が新電力を

Q 藤田議員 エネルギーの地産地消による地域活性化の観点から、市が自ら新電力を立ち上げる考えは。

A 市長 行政が地域新電力会社を立ち上げることで、税収増や

利益配分などの地域活性化や新たな雇用の創出など、様々な効果が期待できる。本市において100%の地産地消の実現には規模の問題などもあり、困難な部分もあるが、新電力を立ち上げる手法は様々あるので、それぞれについてメリット、デメリットなどを比較検討するなど、今後の検討課題としたい。

丸亀の魅力向上 ウォーターフロント開発で

Q 片山議員 本市の都市政策として、歴史を生かし、人と環境と都市活力の調和がとれたウォーターフロントエリアを、新しい魅力ある交流エリアとして創



ウォーターフロントエリアの一角

出すべきではないか。

A 建設水道部長 丸亀港周辺は本市の歴史的シンボルである丸亀城とともに市民の憩いの場となるポテンシャルを持つ歴史的な区域であり、既存の社会資本のストックもある。親水区域を持ったウォーターフロントのあり方を、今後3年かけて作成予定の立地適正化計画の中で検討したい。

綾歌三山の魅力 伝えるために

Q 加藤議員 綾歌三山の魅力を子供たちに伝えるため、ワークショップの要望を踏まえた森林公園活用の基本的方向性と実現の見通しは。

A 建設水道部長 基本的方向性として、ワークショップの意見をベースに、地域と連携した学び、遊びなど、利用者ニーズを反映した取り組みを行っていく。また、森林公園の整備やイベントに対する要望は、綾歌三山を熟知している綾歌三山愛好会や地元コミュニティなどの方々と協議しながら、利用者目線で実現していきたい。

地元企業説明会

市にできることは

【Q】松浦議員 地元へ就職希望の生徒などにとって、様々な企業情報を得ることは自分に合った職業を見つけるために有意義であり、離職率の改善にもつながる。地元企業説明会の開催支援について、市の見解を。

【A】市長 ハローワーク丸亀では生徒が就職活動にうまく取り組めるよう、地元雇用の推進のための様々な支援を行っている。市としては、こうした取り組みへの側面的支援とともに、常日頃から働くことのすばらしさを



定住自立圏域就職面接会

身近に感じられるよう、できる限り支援に努めたい。

今後の総合戦略

重点をどこに

【Q】佐野議員 今後、総合戦略策定に当たり、どこに重点や視点を置き、どのような施策の策定を行っていくのか。

【A】市長 素案として①自然増を目指す②社会増を目指す③魅力を高める④安心を高めるの4つの基本目標ごとに重点的かつ優先的に取り組むリレーディングプロジェクトを核に、それぞれの施策を着実に推進することで、まちの未来を担う人材と組織を創造し、人口減少時代においても輝きを放つ丸亀市を築いていきたい。

特養施設

入所できなくなる人への対応は

【Q】尾崎議員 特別養護老人ホームの利用原則が、要介護3以上に限定されたことによって、待機者の3割以上が利用できなくなると言われているが、市はど

一般質問

う対応するのか。

【A】市長 要介護1、2の方でも、やむを得ない事情により居宅で日常生活を営むことが困難な場合、特例入所として認められる。今後とも、市は、特別養護老人ホームに入所できない方に対応しても、ニーズに合った適切なサービスを安心して受けられるよう、関係機関と連携、協力していきたい。

災害時応援協定

市民の防災意識向上に

【Q】内田議員 災害時応援協定の制度が本稼働後、あらゆる手段を駆使し、市内外に強く丸亀をアピールして、市民の防災意識を、人助けという積極的な位置付けにしたハイレベルのものにするチャンスだと思うが、市長の考えは。

【A】市長 本協定の内容と後方支援拠点としての本市の役割と意義について、市民の皆様にわかりやすく説明し、協力をいただくとともに、市内外に情報発信していきたい。この協定締結を機に、市民の防災意識のさらなる向上に取り組みしたい。

議会の動き 7・8・9月

9月	8月	7月
29日 予算決算特別委員会現地調査	25日 議会改革特別委員会	9日 生活環境委員会協議会
25日 境界分科会	31日 市庁舎整備等特別委員会	10日 広報広聴委員会/市庁舎整備等特別委員会
24日 予算決算特別委員会都市経済分科会/都市経済委員会協議会	10日 議会運営委員会/各派会長	17日 議会運営委員会
18日 予算決算特別委員会教育民生分科会	24日 議会運営委員会/各派会長	23日 議会改革特別委員会
17日 予算決算特別委員会総務分科会	25日 議会改革特別委員会	31日 市庁舎整備等特別委員会
16日 全員協議会	31日 市庁舎整備等特別委員会	6日 総務委員会協議会
15日 広報広聴委員会	1日 議会運営委員会/定例会初日(10月9日まで)/全員協議会	7日 広報広聴委員会/議会運営委員会
14日 全員協議会	3日 都市経済委員会協議会/教育民生委員会協議会	10日 市庁舎整備等特別委員会県内視察
11日 全員協議会/各派会長	4日 生活環境委員会/生活環境委員会協議会/教育民生委員会	
10日 議会運営委員会	7日 総務委員会/都市経済委員会/都市経済委員会協議会	
7日 総務委員会/都市経済委員会/都市経済委員会協議会		